

レジ袋としては全国で初！

焼却時 CO₂ が実質ゼロのレジ袋を神奈川・静岡・山梨の全店で導入

生活協同組合ユーコープ(以下:ユーコープ)は環境に配慮した取り組みを進めるため、2025年3月21日より、全店(77店舗)で焼却時のCO₂が実質ゼロとなるレジ袋(以下、新レジ袋)を順次導入します。

※大サイズのみ(小サイズはバイオマスプラ 50%配合を継続)。旧品在庫がなくなり次第の自然切り替え

焼却時の CO₂ が実質ゼロのレジ袋とは

特許素材の「グリーンナノ」を添加することで焼却時のCO₂を削減し、削減しきれない分はカーボンオフセットすることで、焼却時のCO₂を実質ゼロにしたポリエチレン製のレジ袋です。レジ袋は廃棄された後は焼却処分されることが多いことに着目し、2024年に開発、2025年に発売された商品です。

レジ袋としてこの商品を導入する事業者はユーコープが全国で初めてとなります。

※グリーンナノ、カーボンオフセットについての説明は別紙をご覧ください。

※カーボンオフセットは株式会社イーアンドエスが実施しています。

これまでのレジ袋と比べて最大で年 30 トンの CO₂ を削減

ユーコープではこれまで植物等由来のバイオマスプラスチックを50%配合したレジ袋を使用することでCO₂を削減してきました。新レジ袋に切り替えることで、すべて最終的に焼却された場合、これまでと比べて年間約30トンのCO₂を削減できる見込みです。

毎日のお買物で地球を笑顔に

ユーコープでは、1982年に全国の生協に先がけてレジ袋を有料化し「お買物袋持参運動」を進めてきました。法律によりレジ袋が有料化した2020年より38年前から取り組んできたことで、現在では9割以上の方がマイバッグを持参しています。

マイバッグを忘れた際などに販売しているポリエチレン製レジ袋を新レジ袋に切り替えることで、ユーコープの環境への取り組みに対する組合員の期待に応え、レジ袋を通じた先進的な取り組みを継続します。



〈お問い合わせ先〉

生活協同組合ユーコープ
ブランド・サステナビリティ推進部
TEL : 045-305-6115 担当 宮原

生活協同組合ユーコープの概要

【本部】 横浜市中区桜木町 1-1-8 日石横浜ビル 22～23 F
【代表理事理事長】 當具伸一
【組合員数】 182 万人
【総事業高】 1874.5 億円 (2024 年 3 月 20 日)
【ホームページ】 <https://www.ucoop.or.jp/>